

基本政策 4

「健康でひとに優しい阿南」の創生
～誰ひとり取り残さない共生のまちに～

まちづくり分野	総合戦略 分野
4-1 健康づくり・地域医療.....	ひと
4-2 地域福祉.....	
4-3 障がい者福祉.....	
4-4 高齢者福祉.....	
4-5 社会保障.....	
4-6 人権・男女共同参画.....	

4-1

健康づくり・地域医療

ビジョン

誰もが安心して暮らせる保健・医療が充実したまちづくり

現状と課題



- 健康の保持・増進のために生活習慣病の早期発見や早期治療が重要となりますが、健康診断の受診率の低さといった課題があります。
- 健康寿命の延伸を図るために、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化を図る必要があります。
- 医師の高齢化や医師不足などの現状があり、今後の地域医療を守るため、医師の確保などが求められています。

基本的な方向性

- 市民の誰もが健やかで心豊かに生活できる人生100年時代に向け、必要な医療が受けられる医療供給体制を確保するとともに、フレイル対策や疾病予防・重症化予防を推進し、自主的な健康づくりと生活の質の向上を図ります。
- 新興感染症から市民の命や健康を守る取組を推進します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ 体と心の健康づくりの推進

■主要な施策

- ▶健康づくりの周知・啓発
- ▶母子保健の充実
 - ☞妊娠期からの「切れ目のない支援」を実施するため、妊産婦・こどもの成長発達に応じた健康診査、健康教育・相談、訪問指導等を実施し、健康の保持増進を図る。
- ▶歯科保健の推進
 - ☞すべての住民の口腔の健康を保ち、健康増進とQOLの向上を図る。
- ▶精神保健の推進
 - ☞市民のメンタルヘルス向上のための支援や自殺予防対策の周知啓発を図る。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

歯周病検診受診率

実績(2019)

11.7%

現状(2023)

11.5%

目標(2028)

11.8%

指標の説明

20歳から70歳まで（2023年度までは40歳から60歳まで）の節目対象者のうち歯周病検診を受診した人の割合
口腔ケアの推進につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

歯周病検診の受診者数の増加を目指し、目標値を設定
この目標達成により、健康増進やQOLの向上に寄与

重点テーマⅡ 健康の保持・増進と健康寿命の延伸

■主要な施策

- ▶健康の保持・増進と疾病の重症化予防
 - ☞健康教育・相談、特定健診、がん検診の実施や疾病・重症化予防のための保健指導を実施する。
- ▶高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- ▶医師確保対策事業及び救急医療体制の維持・充実
 - ☞阿南地域医療教育センター事業を支援し、将来の地域医療を担う若手医師の育成による医師確保と救急医療体制の維持・充実を図る。
- ▶がん患者に対する生活支援
 - ☞がん患者への医療用ウィッグや乳房補正具等の助成により社会生活の継続を支援する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

特定保健指導実施率

実績(2019)

79.4%

現状(2023)

84.7%

目標(2028)

85%

指標の説明

阿南市国民健康保険特定保健指導対象者に対する保健指導の実施率

対象者への保健指導が生活習慣の改善や生活習慣病予防につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

保健指導実施率の5ポイント上昇を目指し、目標値を設定

この目標達成により、生活習慣の改善や生活習慣病予防を促し、健康の保持・増進、健康寿命の延伸に寄与

<指標名>

医師確保数

実績(2019)

3人

現状(2023)

9人

目標(2028)

9人

指標の説明

阿南地域医療教育センターの教授等医師数

地域医療を担う医師の確保及び技術向上が図られることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

地域医療提供体制を確保することを目指し、目標値を設定

この目標達成により、救急医療体制の整備と高度医療の提供に寄与

関連する個別計画

- 阿南市地域福祉計画
- 阿南市健康増進計画
- 阿南市自殺対策計画
- 保健事業実施計画（データヘルス計画）

4-2

地域福祉

ビジョン

地域で助け合いつながり合って住み続けられるまちづくり

現状と課題



- 社会構造の変容により地域住民が抱える課題は複雑化・複合化し、既存の支援体制では対応できない支援ニーズを抱える世帯が増加していることから、きめ細やかな支援を届けるため、支援関係機関等の連携体制を強化する必要があります。
- ひきこもり状態にある方など、制度の狭間にいる方のニーズを把握し、オーダーメイド型の伴走支援を提供する体制の整備が必要です。
- 高齢や障がいにより、判断能力の不十分な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域社会の実現が求められています。
- 社会から孤立し、生きづらさを抱える人が増加しており、再び地域の中で生きがいを持って活躍できるようにサポートする体制づくりが求められています。
- 地域とのつながりの希薄化により、地域活動の担い手が不足し、住民同士の支え合いの体制が衰退する中で、単身高齢者や障がい者等を地域で支え合うことができる体制づくりが求められています。また、今後予測される発災時においても、助け合うことができる地域づくりの取組を推進することが必要です。

基本的な方向性

- 住み慣れた地域の中で、地域住民が互いにつながり、支え合い、すべての人が自分らしく生きがいを持って安心して暮らすことができる「地域共生社会」の実現を目指します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ

誰一人取り残さない包括的支援体制の整備

■主要な施策

- ▶ 相談支援ネットワークの構築による相談支援体制の強化
 - ☞ 多機関・多職種がつながる相談支援ネットワークを構築し、誰一人取り残さない支援体制を整備する。
- ▶ 制度の狭間の課題に対する相談支援体制の充実
 - ☞ ひきこもり状態にある者など、自ら支援を求める声を発することができない人が相談支援につながる体制を構築する。
- ▶ 権利擁護支援の推進
 - ☞ 成年後見制度の周知・啓発と利用の促進を図り、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続できるよう社会全体の支え合いの体制を整備する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

地域まるごと支援会議
延べ実施回数（年間）

実績(2019)

－

現状(2023)

61回

目標(2028)

100回

指標の説明

複雑化・複合化した課題を持つ地域住民に対するチーム支援を行うために実施する地域まるごと支援会議の延べ回数（年間）

個々のニーズに対し、チームとして対応した実績として、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

相談支援につながりにくい地域住民の福祉の向上を図るとともに、支援者の負担軽減を目指し、目標値を設定

この目標達成により、誰一人取り残さない支援体制の整備に寄与

<指標名>

徳島家庭裁判所阿南支部における
後見等開始審判の件数（年間）

実績(2019)

22件

現状(2023)

32件

目標(2028)

40件

指標の説明

徳島家庭裁判所阿南支部における後見等開始審判の件数（年間）

成年後見制度の利用につながった件数として、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

権利擁護支援が必要な人が制度につながり、成年後見制度の利用が促進されることを目指し、目標値を設定

この目標達成により、判断能力が不十分な状態にあっても住み慣れた地域社会で生活できる体制整備に寄与

重点テーマ2

つながり支え合える地域づくりの推進

■主要な施策

- ▶ 生きがいを持って社会参加できる支援体制の推進
- ▶ 多様な主体による地域貢献活動の推進
- ▶ 多様な居場所の整備
 - ☞ 分野・属性を問わない多様な居場所や交流の場を整備する。
- ▶ 安心な暮らしのための地域の担い手育成
 - ☞ 地域の担い手を育成し、共助の仕組みづくりを推進する。
- ▶ 「こども食堂」の活動推進
 - ☞ 地域住民が主体となって展開する「こども食堂」の活動を支援し、地域コミュニティの強化を推進する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

参加支援プランの策定件数
（年間）

実績(2019)

－

現状(2023)

1件

目標(2028)

5件

指標の説明

地域まるごと支援会議における参加支援プランの策定件数
本人の状態に合わせたプランの策定件数として、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

社会とのつながりが希薄な人が一歩ずつ社会参加に向かっていくことを目指し、目標値を設定
この目標達成により、地域社会とのつながりの構築に寄与

<指標名>

阿南市こども食堂登録箇所数

実績(2019)

－

現状(2023)

7箇所

目標(2028)

21箇所

指標の説明

市に登録するこども食堂の数
こども食堂を地域コミュニティと位置づけ、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

小学校区に1箇所以上のこども食堂を設置し、地域の拠点に参画する地域住民を増やすことを目指し、目標値を設定
この目標達成により、地域住民の地域とのつながりの形成に寄与

関連する個別計画

- 阿南市地域福祉計画
- 阿南市成年後見制度利用促進基本計画

4-3

障がい者福祉

ビジョン

障がいの有無にかかわらず支えあい尊重し合うまちづくり

現状と課題



- 基幹相談支援センターを設置し、障がいの種別や各種のニーズに対応できる総合的な相談支援や専門的な相談支援を実施するとともに、地域の相談支援体制の強化を図る必要があります。
- 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた支援体制の整備が求められています。
- 障がいの有無にかかわらず、相互の人格と個性を尊重し合いながら暮らせる社会を実現するため、障がい者への理解を深めるための啓発活動の推進と交流の場の拡充が求められています。
- 近年の大災害においては、多くの障がい者が犠牲となっており、発災時を見据えた支援体制の整備が急務となっています。

基本的な方向性

- 地域における障がい者の相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、地域の相談支援体制の強化を図るとともに、自立支援協議会の中心的役割を担うことにより、関係機関同士のネットワークの形成を通じた共生の地域づくりを推進します。
- 社会的障壁を取り除き、障がいの有無にかかわらず、すべての市民が相互に人格と個性を尊重しながら支え合い、共に生きる地域社会の実現を目指します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ 障がい者が自分らしく暮らせる支援体制の構築

■主要な施策

▶相談支援体制の充実

☞基幹相談支援センターを設置し、委託相談支援事業所の機能が十分に発揮できる体制を整備する。

▶地域生活拠点等の推進

☞障がい者が地域で安心して暮らせるよう、地域生活支援拠点の整備を推進する。

▶自立支援協議会の充実

☞相談事例の集積・共有や相談支援事業所などの事業者間の連携強化を図る。

▶多様な居場所の整備（再掲）

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

委託相談支援事業所の相談
受付件数（年間）

実績(2019)

—

現状(2023)

—

目標(2028)

300 件

指標の説明

障がい者やその保護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のために必要な援助等を行った実件数（年間）

在宅で生活している障がい者に対して、適切な援助を実施することが重要であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援、社会生活力を高めることを目指し、目標値を設定

この目標達成により、障がい者が安心した日常生活や社会生活を送ることに寄与

<指標名>

地域生活支援拠点等登録
事業所数

実績(2019)

—

現状(2023)

9 事業所

目標(2028)

20 事業所

指標の説明

地域生活支援拠点等の機能を担う事業所として登録した事業所数（累計）

地域の事業所が機能を分担して面的な支援を行う「面的整備型」による体制の整備を表すことから、この指標を選定

設定の考え方/得られる効果

既存の社会資源をつなぐネットワークを強化し、各機関で役割を担う体制整備を目指し、目標値を設定

この目標達成により、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた支援体制の整備に寄与

重点テーマ2

障がい者が安心して暮らせる環境の整備

■主要な施策

- ▶ユニバーサルデザイン等の普及
- ▶手話言語の普及・障がいの特性に応じた意思疎通手段の利用の促進
- ▶障がいのある人への災害対策支援
 - ☞あらゆる災害を想定した多重の備えが必要であるとの認識のもと、災害対策の取組を推進する。
- ▶障がい者（児）の移動手段の確保
 - ☞障がい者（児）に対し、外出のための支援を行うことにより、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活できるよう支援する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

手話奉仕員養成研修受講者数
（年間）

実績(2019)

－

現状(2023)

14人

目標(2028)

15人

指標の説明

手話奉仕員養成研修の受講者数

手話奉仕員の養成者数の増加を目指すことが必要であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

聴覚に障がいのある人に対する手話奉仕員の増加を目指し、目標値を設定

この目標達成により、手話奉仕員を派遣し、円滑なコミュニケーションを図ることにより、自立と社会参加の促進に寄与

<指標名>

医療的ケア児の個別避難
計画策定数

実績(2019)

－

現状(2023)

1件

目標(2028)

6件

指標の説明

医療的ケアを受けることが不可欠である児童の個別避難計画の策定数

医療的ケア児に対しては、個別の避難支援が必要であることから、この指標を選定

設定の考え方/得られる効果

地域防災の担い手だけでなく、福祉専門職や地域の医療・看護・福祉などの職種団体等、さまざまな関係者と連携を図ることを目指し、目標値を設定

この目標達成により、医療的ケア児やその家族の安全・安心の生活に寄与

関連する個別計画

●阿南市障がい福祉計画・阿南市障がい児福祉計画

●阿南市地域防災計画

●阿南市地域福祉計画

4-4

高齢者福祉

ビジョン

高齢者の暮らしと生きがいを共に創るまちづくり

現状と課題



- 地域とのつながりの希薄化による高齢者の孤独・孤立が問題となっており、通いの場や地域活動等への社会参加が求められています。また、高齢者の「通いの場」が日常の見守りや災害時等に地域で支え合う基盤となり得ることから、こうした「通いの場」を多世代交流の場へと展開し、平時から多世代異年齢交流の拠点づくりを推進する必要があります。
- 高齢化の進展や団塊の世代が後期高齢に移行していくことに伴って、要介護高齢者の増加や介護期間の長期化による保険給付の増加が見込まれる中、公平かつ公正な審査・判定を行い、要介護認定の適正化を図る必要があります。一方で、医療・介護を担う専門職の確保がより一層困難な状況となっています。
- 我が国の認知症高齢者数は、令和7年に65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれています。こうした状況の中、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、認知症施策を総合的かつ計画的に推進していく必要があります。
- 要介護者等の「自立支援・重度化防止」に資するための適切なケアマネジメントの考え方等基本的事項について、介護支援専門員と共通認識を図る必要があります。

基本的な方向性

- 地域の高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、地域で暮らす高齢者を取り巻くニーズや課題を把握し、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ

高齢者の社会参加の促進による地域づくり

■主要な施策

▶介護予防施策の強化

☞高齢者が健康でいきいきと暮らし続けられるよう、高齢者が主体的に介護予防に取り組み、人と人のつながりにより支え合う地域づくりを推進するとともに、高齢者ニーズに即した介護予防施策を展開する。

▶多様な居場所の整備（再掲）

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

「通いの場」のグループ数

実績(2019)

139 グループ

現状(2023)

126 グループ

目標(2028)

135 グループ

指標の説明

住民主体の「通いの場」であるいきいき100歳体操及び「あななんサロン」の実施グループ数
高齢者が地域の中で自発的に取り組むことができる「通いの場」が高齢者の孤独・孤立の解消、健康保持及び介護予防につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

市内全域で高齢者が容易に通える範囲に「通いの場」の拡充し、地域の支え合い体制の構築を目指すし、目標値を設定

この目標達成により、地域の「通いの場」を核とした多世代異年齢交流の拠点づくりに寄与

■主要な施策

▶地域包括支援センターの機能強化

☞地域の高齢者等に対するきめ細かな対応と適切な支援の提供体制を強化し、地域包括支援センター間の質の平準化及び質の向上を目指す。

▶買い物支援等生活支援サービスの充実

☞高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、買い物支援、家事援助や見守り、外出支援といった高齢者ニーズに即した生活支援サービスの充実を図る。

▶認知症に対する正しい知識と理解の普及

▶認知症への備えと社会参加

☞一般介護予防事業を推進し、積極的な社会参加の促進を図るとともに、各圏域における認知症カフェの実施に取り組む。

▶適切な介護保険サービスの充実と強化

K P I（重要業績評価指標）

<指標名>

認知症カフェ（オレンジカフェ）
の設置数

実績(2019)

5箇所

現状(2023)

8箇所

目標(2028)

10箇所

指標の説明

誰もが気軽に参加できる「オレンジカフェ」の設置数

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる地域共生社会の実現を目指すため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

各地区にオレンジカフェを設置することを目指し、目標値を設定

この目標達成により、オレンジカフェが各地域に設置され、孤立することなく、住み慣れた地域で自分らしく暮し続けることのできる社会の実現に寄与

関連する個別計画

●阿南市高齢者福祉計画・阿南市介護保険事業計画・阿南市認知症施策推進計画

●阿南市地域福祉計画

4-5

社会保障

ビジョン

誰もが健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

現状と課題



- 国民健康保険制度は、高齢者や低所得者などの加入割合が増加するという構造的な問題を抱えており、また、被保険者の高齢化や医療の高度化に伴い医療費の増加が見込まれていることから、今後も市民の健康づくりと医療費の適正化を図る取組が求められています。
- 後期高齢者医療制度は、被保険者の増加に伴い、医療費の増加が見込まれるため、世代間・世代内負担の公平化を図るとともに、適正な制度運営が求められています。
- 国民年金制度は、老後の生活などを経済的に支える重要な役割を果たしているため、市民一人一人の年金受給権を確保することが必要です。
- 高齢者や障がい者、その他就労に向けた課題を多く抱える生活保護受給者の意向や希望を十分に確認し、本人の状態に応じた適切な就労活動が行えるように支援を行う必要があります。また、本人の特性を踏まえた職を選択する、企業とのミスマッチを防ぐなど、就労後の定着支援についても有効的に行うことも必要です。

基本的な方向性

- 国民皆保険の重要な役割を担う制度として、国民健康保険の健全な運営に努め、また後期高齢者医療制度では、徳島県後期高齢者医療広域連合と役割分担しながら、適正な運営に努めます。国民年金制度では、老後の安定した生活を支えるため、制度の周知・啓発に取り組みます。
- 生活保護制度によって、生活に困窮するすべての住民に対して必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、生活保護受給者の自立助長を図ります。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ

社会保険制度の適正な運用、国民年金制度の啓発

■主要な施策

- ▶ 国民健康保険被保険者の資格適用の適正化
- ▶ 国民健康保険及び後期高齢者医療制度における医療費の適正化
- ▶ 保健事業の充実
 - ☞ 国民健康保険加入者の人間ドック費用の助成や特定健康診査を実施し、健康状態の把握や保健指導により症状の重症化を予防する。
- ▶ 年金受給権の確保

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

国民健康保険加入者における
特定健康診査受診率

実績(2019)
33.5%

現状(2023)
40.1%

目標(2028)
45.1%

指標の説明

40～70歳までを対象とした特定健康診査を受けた人の割合
糖尿病など生活習慣病の早期発見・早期対策につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

国民健康保険加入者の特定健康診査受診率の上昇を目指し、目標値を設定
この目標達成により、健康寿命の延伸や医療費の適正化に寄与

重点テーマ2

生活保護受給世帯の自立支援

■主要な施策

▶被保護者就労支援

☞ハローワーク等と連携し生活保護受給者の求職活動の支援や就労後の状況確認等を行い、対象者の生活の安定につなげる。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

就労により生活保護から
脱却した世帯数（年間）

実績(2019)

7世帯

現状(2023)

8世帯

目標(2028)

10世帯

指標の説明

被保護者就労支援により生活保護から脱却した世帯数（年間）
就労により自立し将来的な生活保護脱却を目指すことが生活保護制度の主旨においても重要であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

被保護者の自立を目指し、目標値を設定
この目標達成により、被保護者それぞれに適した就労による自立した生活に寄与

関連する個別計画

- データヘルス計画
- 阿南市地域福祉計画

4-6

人権・男女共同参画

ビジョン

誰もがお互いの人権と多様性を尊重し認め合うまちづくり



6-1 人権

現状と課題

- 現代社会では、デジタル領域の進化に伴って、SNS やインターネット上での人権侵害やハラスメント問題が増加し、生命をも脅かす社会問題となっており、人権問題をめぐる状況はますます複雑かつ多様な形態に発展しています。
- 本市においては、同和問題講演会、人権教育研究大会、人権フェスティバル、人権教育・啓発市民講座など、人権教育・啓発に関する講演会等を実施し、人権問題を主体的に考え解決していく人材の育成と、人権意識の高揚を図っています。
- 性の多様性に対する誤った認識や偏見により、周囲の人に理解が得られないなど、学校・職場・地域等で生きづらさを感じている人がいます。性の区分を前提とした社会制度や制度上の制約など、さまざまな問題の解消に向けた取組を推進していく必要があります。

基本的な方向性

- 「阿南市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、同和問題をはじめとするあらゆる差別の撤廃と、市民一人一人が互いの人権と多様性を尊重し認め合う、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマⅠ

人権尊重のまちづくりの総合的推進

■主要な施策

▶市民一人一人の人権意識の高揚

☞講演会等を開催による人権意識の高揚を図るとともに、インターネット上の差別書込みを監視・削除する体制を整備する。

▶家庭・学校・地域の連携と人権教育の推進

☞家庭・学校・地域の連携をさらに強化し、人権について正しく理解し具体的な行動へ結びつけていく力を養う。

▶性の多様性への理解促進とダイバーシティ社会の実現

☞多様性を認め合い、すべての人の人権が尊重される明るく住みよい社会の実現に向け、周知啓発を行う。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

人権教育・啓発のための講演会、研究大会等の参加延べ人数

実績(2019)

1,805人

現状(2023)

1,341人

目標(2028)

1,805人

指標の説明

講演会、研究大会等の参加延べ人数

参加人数の増加が市民の人権意識の向上と人権教育・啓発の推進につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

新型コロナウイルスの影響等による参加者の減少からの回復を目指し、目標値を設定
この目標達成により、市民の人権意識の高揚に寄与

重点テーマ2

人権問題を解決するための地域活動の充実

■主要な施策

▶人権学習・啓発活動の充実

☞同和問題をはじめさまざまな人権問題の解決のため、隣保館や教育集会所を拠点に、人権教育・啓発活動を推進し、人権意識の向上を図る。

▶人権問題の解決に向けての支援の充実

☞相談事業の推進等により、地域住民の相談等に適切に対応・支援できるよう努める。

K P I（重要業績評価指標）

<指標名>

隣保館における人権学習・啓発活動の講座数（年間）

実績(2019)

90 講座

現状(2023)

56 講座

目標(2028)

90 講座

指標の説明

隣保館において開催される人権学習・啓発活動の講座数（年間）

人権に関する地域住民の理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発・広報活動を行うため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

人口減少及び高齢化により参加者が減少している中で講座数を維持することを目指し、目標値を設定

この目標値達成により、地域住民の人権課題意識の向上に寄与

関連する個別計画

- 阿南市人権施策基本方針
- 阿南市教育振興基本計画
- 阿南市男女共同参画基本計画
- 阿南市女性活躍推進基本計画
- 阿南市DV防止基本計画
- 阿南市困難女性支援基本計画

6-2 男女共同参画

現状と課題

- 男女の性別役割分担意識はいまだ根強く、家事、育児、介護などの家庭における労働の大半をどちらか一方のみが担う状況は、個々の生活への負担となり得ることは否めません。
- 家庭と仕事の両立（ワーク・ライフ・バランス）が男女共に当たり前となる意識改革が必要です。
- 困難な問題を抱える女性にとって最も身近な相談先としての役割を果たすとともに、包括的支援の実施や関係機関へのつなぎ等の実施に向け、連携体制の構築と施策の周知が必要です。

基本的な方向性

- 阿南市男女共同参画推進条例に基づく「阿南市男女共同参画基本計画」の理念の下、男女が互いにその人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮しながら、社会のあらゆる分野において共に参画できる男女共同参画社会・ジェンダー平等社会の実現を目指します。
- 政策や方針決定過程への女性の参画拡大を促進するとともに、ダイバーシティ社会の実現や男女共同参画を推進するリーダーの育成と女性のエンパワーメント促進に努めます。
- 女性に対する暴力をはじめ、すべての暴力根絶のための意識づくりに努め、相談・支援体制の更なる充実により、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

重点テーマ・主要な施策

重点テーマ1

男女共同参画社会・ジェンダー平等の実現

■主要な施策

▶男女共同参画・ジェンダー平等の意識づくりの推進

- ☞男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進し、男女共同参画及びジェンダー平等に関する意識啓発を図る。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

「社会全体」における男女の
平等意識について「平等」と
考えている市民の割合

実績(2019)

11.4%

(2017年度)

現状(2023)

12.9%

(2022年度)

目標(2028)

50%

指標の説明

市民意識調査実施（5年ごと）による集計結果

男女共同参画に関する市民の意識を今後の施策に生かすため、この指標を選定

設定の考え方/得られる効果

男女平等意識の向上を目指し、目標値を設定

この目標達成により、男女共同参画社会の実現に寄与

重点テーマ2

女性の政策・方針決定過程への参画

■主要な施策

▶女性活躍推進に向けた人材の育成

- ☞ジェンダー平等の視点を持った人材を育成し、あらゆる分野への女性の参画を推進する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

市の附属機関（各種審議会等）
における女性委員比率

実績(2019)

33.3%

現状(2023)

33.7%

目標(2028)

35%

指標の説明

地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等の女性委員比率

第4次阿南市男女共同参画基本計画における数値目標であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

市の附属機関（各種審議会等）における女性の参画拡大を目指し、目標値を設定

この目標達成により、女性のエンパワーメント促進とジェンダー平等に寄与

重点テーマ3

困難な問題を抱える女性への支援

■主要な施策

- ▶ DVをはじめとする性暴力、性差別の防止に関する意識啓発及び相談支援等の周知
 - ☞ 配偶者暴力相談支援センターにおける相談支援や困難な問題を抱える女性の相談支援に関する周知・啓発を行う。
- ▶ 関係機関との連携強化による相談・支援体制の構築
 - ☞ 市民にとって最も身近な相談先としての役割を果たし、必要な支援の包括的な提供、関係機関へのつなぎ等を実施する。

KPI（重要業績評価指標）

<指標名>

相談支援等に関する周知・啓発記事の掲載（広報あなん、市ホームページ）

実績(2019)

—

現状(2023)

—

目標(2028)

4回

指標の説明

相談窓口及び法制度に関する周知・啓発記事の掲載回数
広報・ホームページ等への掲載により市民への周知が図られることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

市民に対する相談支援の周知機会を増やすことを目指し、目標値を設定
この目標達成により、DV被害、困り事等を抱える女性が安心して暮らせる環境整備に寄与

関連する個別計画

- 阿南市男女共同参画基本計画
- 阿南市女性活躍推進基本計画
- 阿南市DV防止基本計画
- 阿南市困難女性支援基本計画
- 阿南市人権施策基本方針
- 阿南市教育振興基本計画